

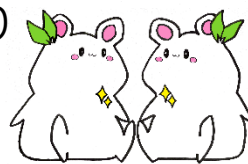
令和5年11月6日



光が丘第二中学校 学校だより

TEL 3976-9202 FAX 5383-3608

<https://www.nerima-ky.ed.jp/hikarigaoka2-j/>



## 「一歌入魂 ～ 一つの歌に魂を込めて ～ 」

校長 山田 美鈴

コロナ禍で最も制限されていた教育活動が「合唱」でした。数年前は大声を出して歌うことができず、対面を避けソーシャルディスタンスを保ちつつ不安な時期を過ごした子どもたち……。そんな切ない時期を経験したからこそ、仲間と心を合わせて思い切り歌うことのすばらしさを心の底から実感できたのではないのでしょうか。

とは言うものの、今年は例年とは時期の異なる予期せぬインフルエンザの流行に悩まされながら、本番を迎えることとなりました。特に3年生の欠席が直前になって目立ちました。「一難去ってまた一難」とはこのことでしょうか？しかし起きる事象に意味のないことはありません。こういった不測の事態にどう対応していけるのか？

「起きている事態を嘆いていても前には進めない。不安な思いは全力発揮の邪魔になる。一緒に歌えない仲間の分まで、舞台に立つ一人一人が心を合わせて精一杯頑張ろう。どんな状況であっても合唱コンクールは実施します！」と合唱コンクール前日の3年学年朝礼で力説しました。

合唱コンクール当日に校内を巡回すると、各教室の黒板には担任や実行委員の熱い思いが黒板アートとなって表現されていました。合唱が響きわたる賑やかな活気ある教室も、熱い思いを込めたメッセージやスローガンが飾られている誰もいない静かな教室も、私は大好きです。一人一人の熱い思いを感じます。

合唱コンクールを通して仲間の存在の大きさや心を一つにすることの尊さを誰もが感じたことでしょう。前号で紹介した3年生の言葉「光二中を日本一の学校にしたい！」その最上級生の思いに、また一步近づくことのできた合唱コンクールとなりました。

今年度は会場の都合により、保護者をはじめご家族の皆様、ご来賓の方々に入場の制限をさせていただきました。来年度は練馬文化センターでの開催となります。ぜひ多くの方にご来場いただき、子どもたちの成長の様子をご覧いただきたいと思います。受付や写真撮影などでご協力いただきました保教の会の皆様、ありがとうございました。



## 合唱コンクール 金賞クラス おめでとう!!

1 年 3 組  
「My Own Road」



2 年 1 組  
「心の瞳」



3 年 1 組  
「海の不思議」



### ～表彰式～

実行委員の皆さんありがとう！



### 11 月は「児童虐待防止月間」です！

「こども基本法」が施行され「こども家庭庁」が発足して約半年が過ぎました。この意義は「子どもは大人が保護すべき対象である」という側面だけではなく「子どもは大人と同じように、ひとりの人間として同様の権利をもった存在である」という定義付けがされたことです。

1989 年に国連で採択された「子どもの権利条約」では最も重要な 4 つの権利として「自分の意見を伝え、参画する権利」、「子どもが最も望んでいることを実現される権利」、「差別されない権利」、「安心安全に成長する権利」が掲げられています。

中学生は特に多感な時期であり、大人からの押しつけに強く反発する力(腕力ではなく思考力・判断力)をもつようになります。家庭においては親と子、学校においては教師と生徒の関係で、大人が子どもを同じひとりの人格者として受容していく心の深さが大切です。

子ども家庭庁は「子どもまん中社会とは子どもの視点に立って意見を聞き、子どもにとって一番の利益を考え、子どもと家庭の福祉や健康の向上を支援し、子どもの権利を守るための子ども政策に強力なリーダーシップをもって取り組む」と宣言しています。

この 11 月は「練馬区ふれあい月間」でもあります。学校としても様々な取組を通して、生徒たちが安心して生活できる環境づくりに、これからも取り組んでまいります。

